



# とよなが ARTS ワゴン アーティストバンク 登録アーティスト

## 市民とアートをつなぐ

「とよなが ARTS ワゴン アーティストバンク」は、市民とアーティストをマッチングする豊中市立文化芸術センターの新たなアーティスト人材紹介システムです。

登録アーティストは、豊中市立文化芸術センターのレジデントアーティストとして 2 年間活動した実績を持つ演奏家です。コンサートやリサイタルはもちろんの事、これまでワークショップや小学校への出張公演など様々な取り組みをおこなってきました。

そして、本アーティストバンクでは、市民のみならずアートを通して繋がっていくことで彼女ら・彼らたちの活動の場を広げると同時に、地域の魅力発展に尽力します。

イベントや特別な日をアートで彩ってみる。そんな時間を生み出すのが「とよなが ARTS ワゴン アーティストバンク」です。



## ご利用案内

### 問い合わせる

まずは文化芸術センター（事務局）へお問い合わせ下さい。

### 申し込む

利用規約をお読み頂いた上、利用申請書の提出をお願いします。

### マッチング

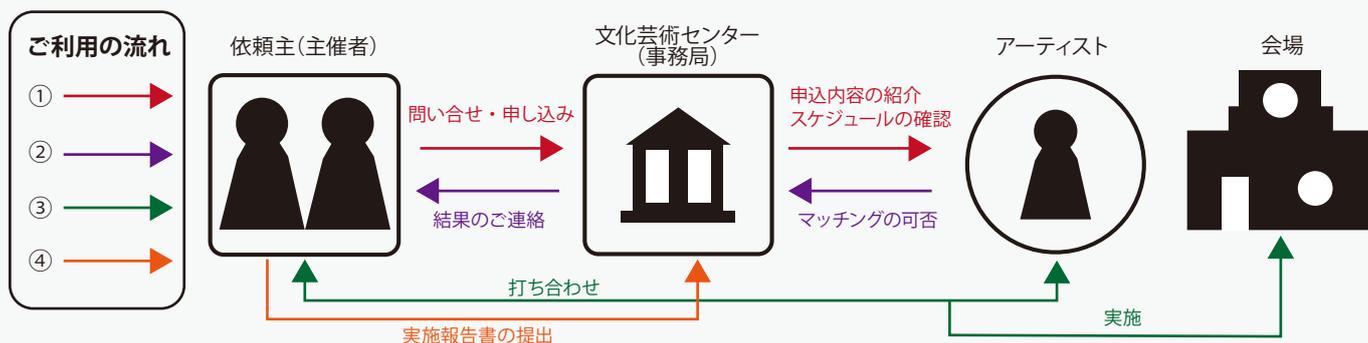
利用申請書をもとにアーティストとのマッチングを事務局が行ないます。

### 打ち合わせ

アーティストが決定しましたら、内容・スケジュール・謝礼などについて打ち合わせをしていただけます。

### 実施と報告

実施終了後、詳細・実績報告、感想などを記載した報告書をご提出していただけます。



## ご利用にあたって

- ・アーティストの無料派遣は行なっておりません。
- ・申請内容が本バンクの運用目的から著しくかけ離れていると判断される場合は、お断りする場合がございます。
- ・スケジュールや内容によってご希望に添えない場合もございます。予めご了承ください。
- ・その他、ご利用方法や、こんなことをしてみたいなどのご要望に関しましては、豊中市立文化芸術センター事務局 (06-6864-3901 ※月曜休館 | 9:00 ~ 20:00) にお気軽にお問い合わせ下さい。

## アーティスト紹介

# ピアノ 新崎 洋実

沖縄県出身。

沖縄県立芸術大学音楽学部器楽専攻ピアノコース卒業。西銘順治賞受賞。パリ地方音楽院（CRR de Paris）最高課程演奏家コースを、審査員満場一致の一等賞で卒業、コンサートディプロマ・上級音楽研究資格取得。

レオポルト・ベラン国際コンクール第1位。

バドヴァ国際音楽コンクールピアノ部門第1位、全部門にて第2位。

おきでんシュガーホール新人演奏会オーディション優秀賞。

日本各地、フランスやイタリアにて、ソロや、室内楽などのコンサートに出演。ソロのみならず、アンサンブルピアニストとして室内楽や声楽、器楽との共演も多い。

さらに小物楽器を使った演奏や、創作ダンスなど他分野とのコラボレーション、全国各地の学校や地域施設でのアウトリーチなど、広く活動を展開している。

また、ピアニスト新崎誠実とともに「ピアノデュオ新崎姉妹」としても活動中。

2018年8月、新崎姉妹ファーストアルバム「連弾日和」がNAJよりリリース。

現在は大阪を拠点に活動を行う。帝塚山大学非常勤講師、(一財)地域創造・公共ホール音楽活性化アウトリーチフォーラム事業令和元・3年度長野セッション・アシスタントコーディネーター。

豊中市立文化芸術センター第1期レジデントアーティスト。



新崎洋実  
演奏動画

## これまでの活動

2人の姉について行くようにピアノを始め、家族の影響で幼少期から色々な音楽に触れ次第にのめり込んでいった私は、もっと色々な音楽の世界を知りたい!との思いで沖縄県立芸術大学、パリ地方音楽院に進学しました。そこでの学びや経験は、もっと色々な人たちと音楽を共有したい!という思いに変わり、卒業後、音楽活動をスタートさせました。

これまで各地の公共ホールでのコンサートをはじめ、学校等でのアウトリーチ、器楽や邦楽器とのアンサンブル、ダンス・朗読等とのコラボレーション、ピアノデュオでの活動、音楽ワークショップ、現代音楽の初演など、多角的に音楽を介した企画・活動を積極的に行い、音楽で人と繋がっていきけるような活動をしています。

## アーティストとしての重点ポイント

音楽を介して出会う方々と対話し、繋がることを大切にしたいです。対話は決して言葉だけではありません。身体を向かい合わせることや目を見ること、音を聞くこと、同じ場所にいること。どんな小さなことでも日常には対話が生まれるきっかけが溢れています。また、私自身幼少期の体験が、大人になった今のいろんな価値観に繋がっていると感じています。特に未来を生きる子どもたちと一緒に、それぞれが感じる新しい発見や体験の中に自然と「音楽がそばにある」場所や時間を育てていけるような活動ができればいいなと考えています。



様々な文化の入り混じる沖縄に生まれ育った私の大阪・豊中で活動する上での強みは「ヨソモノ」であることです。多様な現代を生きる私たちが共に、対話を育みながら、「おもしろいモノ」を一緒につくって行けたらと思います。

ひとこと PR

## アーティスト紹介

# サクソフォン 上馬場 啓介

大阪府豊中市出身。

2016年大阪芸術大学芸術学部演奏学科卒業。卒業時、学科長賞受賞。同校卒業演奏会、第57回関西新人演奏会、第13回日本サクソフォン協会新人演奏会、第32回ヤマハ管楽器新人演奏会等多数出演。第25回日本クラシック音楽コンクール全国大会第3位(2位なし)、同大会優秀賞受賞。第21回KOBE国際音楽コンクールG部門において優秀賞受賞。第17回大阪国際音楽コンクール室内楽部門最高位(1位なしの2位)、他、コンクールにて大阪市長賞、兵庫芸術文化協会賞受賞。第18回森フレッシュコンサートにて優秀演奏者に選出、ガラコンサートに出演。各コンクール入賞者による披露演奏会に出演する他、学内選抜による久保惣ミュージアムコンサート等に出演。2017年、大阪チェンバーオーケストラとJ.イペール作曲「アルト・サクソフォンと11の楽器のための室内小協奏曲」を共演する他、いずみホールで行われた関西室内楽協会主催「男たちが奏でる音楽の世界〜21世紀を担う若き音楽家たち〜」ではソリストとしてピアノ、弦楽とロベルト・モリネッリ作曲「ニューヨークからの4枚の絵」を共演。

これまでにサクソフォンを辻本剛志氏に師事。大城正司、Rodrigo Villa 各氏のプライベートレッスンを受講。また室内楽では Claude Delangle 氏のマスタークラスを受講。

現在中学校・高校吹奏楽部の楽器指導、個人指導をする傍ら、レコーディングや様々なアンサンブル形態での演奏活動も行っている。関西室内楽協会会員、《SAXA'S》《ねぎまるん》各メンバー。

豊中市立文化芸術センター人材育成事業「とよなか ARTS ワゴン」レジデントアーティストの一員として選出され、現在活動中。



## これまでの活動

大阪芸術大学卒業。日本クラシック音楽コンクール、KOBE 国際音楽コンクール、大阪国際音楽コンクール等の様々なコンクールで多数受賞。今までに数々のオーケストラ団体のソリストを務め、2021年には自身の出身地である豊中市でサクソフォンリサイタル〜艶奏〜を開催。クラシック、ポップス、ジャズあらゆるジャンルに対応し、数々のライブコンサートを行なっている。演奏場所はコンサートホール、野外イベント、学校など多岐に渡る。その他、中学校・高校吹奏楽部、個人指導をする傍ら、レコーディングや様々なアンサンブル形態での演奏を行なっている。

## アーティストとしての重点ポイント

“音を奏でる”には演奏技術だけでなく人間味や魅力が必要だと考えています。

日々の生活で感じる出来事を音楽に変換し、表現することこそがアーティストの役割だと感じています。



上馬場啓介  
演奏動画



唯一無二の演奏を  
聴いて下さい!!

ひとこと PR

## アーティスト紹介

# ピアノ 若井 亜妃子

京都市立芸術大学音楽学部卒業。

ハンブルク音楽演劇大学大学院修士課程修了後、ハノーファー音楽演劇メテウ大学ソリスト課程修了、ドイツ国家演奏家資格を取得。

奥本順子、中野慶理、樋止由紀、フォルカー・パンフィード、マルクス・グローの各氏に師事。

第51回国際ピアノコンクール「Arcangelo Speranza」(イタリア)第2位、第24回ABC新人コンサート音楽賞、2019年度秋篠音楽堂アーティスト賞など数多くのコンクールにて受賞。また、国内外のオーケストラと共演。

ゲッティンゲンシシフォニーオーケストラとは、ドイツの保険会社のバックアップにより、ピアノ協奏曲のCDも制作。国内外の音楽祭にも多数出演し、ペパーゼー音楽祭「Bebersee Festival」においては、その模様がドイツ国内にテレビ放送され、ドイツ新聞紙Templiner Zeitungにヨーロッパの音楽文化を深く理解していると評される。また、ハノーファー音楽演劇メテウ大学在学中には、東日本大震災のチャリティコンサートを主宰、ならびに出演し、日本赤十字社への義援金の寄付をはじめ、社会的活動も積極的に行う。

現在は、ソロや伴奏などの演奏活動のほか、後進の指導、小学校や養護学校にてアウトリーチ活動を行う。

平成29～31年度滋賀県立文化産業交流会館主催「アートのじかん」登録アーティスト。

『とよなかARTSワゴン』レジデントアーティスト。



若井亜妃子  
演奏動画

## これまでの活動

京都市立芸術大学卒業後、ドイツに5年間留学、ドイツ国家演奏家資格取得。留学中より、ただ演奏するだけではなく、よりクラシック音楽の魅力を伝えられるよう、ドイツ語でレクチャーについてのワークショップを受け、帰国後は、豊中市だけではなく、他の自治体の小学校や養護施設でアウトリーチを行なっている。大人向けだけではなく、0歳から対象のコンサートや、子どもたちとコンサートを作るワークショップの他、ソニー音楽財団の「こどものためのクラシック♪」YouTubeチャンネルにて、動画を公開中。

## アーティストとしての重点ポイント

「音楽」という言葉は、「音を楽しむ」と書きます。その「楽しむ」という気持ちをいつも大切にしています。

そして、音楽は、他の芸術のみならず、様々な分野との「つながり」を見つけることができます。絵画をはじめ、小説、歴史、流行など…。音楽をただ受動的に聴いていただくだけではなく、日常のふとした時に、その「つながり」にピンときて、新たな発見を通して、新たな世界（視野）が広がればいいなと思いながら活動しています。また、音楽を通して、人との「つながり」も広がっていくように、常に柔軟に活動することも心がけています。

アーティストとして、社会の中での音楽の存在意義を忘れずに、みなさんと笑顔のあふれる時間を一緒に作る機会を楽しみにしています。



育児中ですので、子どもむけのイベントも大歓迎です！  
留学もしていましたので、(少しですが)英語やドイツ語も話せます。

ひとことPR

## アーティスト紹介

# ピアノ 中嶋 奏音

大阪府豊中市出身。

大阪府立夕陽丘高等学校音楽科、京都市立芸術大学音楽学部ピアノ専攻卒業。大学内選抜により学内リサイタル、第33,35回ピアノフェスティバル、第42回アンサンブルの夕べに出演。第3回豊中音楽コンクールピアノ部門第1位及び最高位の豊中市長賞受賞。

これまでにピアノを井上聡美、芹澤佳司、横田知子、砂原悟、宮下直子、作曲を佐井孝彰、重奏法を椋木裕子、チェンバロを中野振一郎の各氏に師事。現在、京都市立芸術大学大学院音楽研究科修士課程器楽専攻に在籍。

豊中市立文化芸術センターレジデントアーティスト第2期生として豊中市内の小学校でのアウトリーチや福祉施設での演奏活動の他、関西を中心にソロ・伴奏・室内楽問わず積極的に演奏活動を行っている。



中嶋奏音  
演奏動画



中嶋奏音  
インタビュー動画



Photo by Tonko Takahashi

## これまでの活動

5才の時ヤマハ音楽教室のジュニア専門コースに入り、その後ヤマハマスタークラスピアノ演奏研究コース・創作研究コース（作曲）を併用して学び、大阪府立夕陽丘高等学校音楽科・京都市立芸術大学を経て、今も同大学大学院にて学びを深めています。PTNA ピアノコンペティションや豊中音楽コンクールなど多数入賞、高校・大学在学時には成績優秀者選抜で演奏会に出演。ピアノソロのみならず、伴奏には特に定評があり多くの依頼を受け東京・九州などで遠征伴奏も行っています。京都芸大生で結成されたアンサンブルチーム“INIZIO”、使われなくなった楽器などで演奏を行う“副産物楽団ゾンビーズ”、三田屋本店 - やすらぎの郷 - 専属ピアニストに在籍し、多方面で音楽を届ける活動をしています。

## アーティストとしての重点ポイント

ピアノソロはもちろん、アンサンブル・伴奏・作曲・即興など、“奏音”と言う私の大好きで大切な名前のおり“音”を“奏”でることが大好きです。それに加え、3年間のレジデントアーティスト活動の中で、演奏力 + トーク力、そして子供たちとの音楽の楽しみ方を学びました。コロナ禍での音楽活動を経て、今まで当たり前だったことの喜びを再認識し、更に音楽に真摯に向き合っていこうという想いが強くなりました。老若男女・屋外屋内・キャパシティ問わず、今まで届けてきた私の音楽やささまざまな経験を地域の皆様と共有出来る日を楽しみにしております。



豊中生まれ、豊中育ち、豊中在住の生粋の豊中っ子です！  
音楽は“なまもの”。その時、その瞬間にしか生まれない音楽を一緒に楽しみましょう！

ひとこと PR

## アーティスト紹介

# ピアノ 東川内 梨沙

大阪府立夕陽丘高等学校音楽科を卒業後、渡欧。

オーストリア国立ザルツブルグ モーツァルト音楽大学にて学士過程をロルフ・ブラッゲ教授、修士課程演奏家コース、ポストグラデュエイトコースをジャック・ルヴィエ教授のもとで研鑽を積み、共に満場一致の最高点を獲得修了。

その他ピアノソロを南依里、服部久美子、韓吏花、ピアノデュオをアンドレアス・グロートホイゼン、室内楽をヴォルフガング・レーティック、チューンデ・クルツ、ミハエラ・ギラルディなど各氏に師事。これまでにミハエラ・シェーファー、アンドレア・ロッケジーニ、オリヴィエロ・ギャルドンなどの各氏のマスタークラスに参加。

2013年イタリアで行われたドシ・ヴィンツェンツォ・ヴィツァイ国際コンクールにて第1位を受賞。日本、オーストリア、ドイツ、イタリア、フランスなど数多くの演奏会に出演。

2017年よりスイスツェルンに拠点を置くモーツァルト・アンサンブルのメンバーとして、オーストリア各地でソロ、室内楽の演奏活動を行う。

2020年豊中市立文化芸術センター「とよなかARTSワゴン」レジデントアーティストに選出される。とんだばやし混声合唱団ピアニスト、ザリツツ・カールスタ大阪ザ・ロビーラウンジピアニスト、日本クラシック音楽コンクール審査員。



Photo by Tonko Takahashi

## これまでの活動

3歳からピアノを始め、ピアニストを志したのは小学5年生の時です。初めてドイツ人の教授のレッスンを受け感動し、音楽留学を決意しました。高校卒業後オーストリアに留学し、ここでは大学、大学院、研究科まで進み、8年間過ごしました。ソロの勉強をしつつ、室内楽やオーストリアの小学校を周ってアウトリーチ公演も行い私を形成する重要な体験と学びとなっています。帰国後は、更に色々な人、場所に音楽を届けたいという想いが強くなり、豊中市での活動を始めました。その経験もあり、今では聴いている人とのコミュニケーションが多く、一緒に時間、空間を共有するというをより身近に考えるようになりました。

## アーティストとしての重点ポイント

作曲家が心を込めて書きあげた曲を、音楽家として聴衆に届けることをいつも重点においています。

クラシック音楽に詳しくなくても、聴いて良かったと思える、心に響く音楽を届けたいです。



東川内梨沙  
演奏動画



東川内梨沙  
インタビュー動画



ヨーロッパに8年間留学していた中で、本物のクラシック音楽を間近で聴き、沢山学んできました。その経験を活かして、自分なりに作りあげたクラシック音楽を届けたいと思っています。

ひとこと PR